

斜里町校務DX計画

1 1人1台端末（指導者用）の整備

校務用PC端末を教員1人1台整備済みであり、1人1台端末（指導者用）の整備を完了している。

2 ネットワークの改善

現在、町内小中義務教育学校全校において、普通教室、特別教室、体育館でインターネットの接続が可能。

文部科学省が示す学校規模ごとの1校あたりの帯域の目安（当面の推奨帯域）の値を参考に、定期的にネットワークアセスメント等から課題を特定し、順次改善策の検討を開始する。

3 校務のデジタル化

FAXでのやり取りや押印について、クラウドサービスの活用や書類の電子化を推進することで、原則廃止。

平成28年度から校務支援システムを導入し、名簿情報等の手入力作業を極力削減。

4 1人1台端末の活用と個別最適・協働的な学びの充実

1人1台端末を活用した個別最適・協働的な学びの充実には、教職員がソフトウェアを積極的に活用することが前提となる。そのため、各ソフトウェアの使用法に関する研修を毎年実施する。定期的に使用するソフトウェアの見直しを行い、使用頻度と効果を検証し、変更等を行う。

5 学びの保障

不登校児童生徒については、端末を活用した授業への参加の機会を提供している。

外国人児童生徒や特別な支援を要する児童生徒等、児童生徒の実態に応じて端末を活用した支援を実施する体制を整備する。